学校番号	1302

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）基礎英語	3	第一学年	DataBase1700 DataBase1700Workbook

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎英語は、「話すこと（やり取り）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能５領域の基礎的な力を養うだけでなく、英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する授業です。そのために、中学校で学んだ内容も含め、英語の基礎的な文法事項を学習します。また、聞いたり読んだりした内容について話したり書いたりする言語活動も行います。

・英語の語彙や文法については、それらが使用される時と場合を想定して学習することが大切です。常に、「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読をする際には英語のリズムやイントネーションに気をつけ、相手が聞き取りやすいように心がけて発音しましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

域領	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発音されれば、身近な単語や語句を聞き取ることができる。 ・アルファベットが発音されるのを聞いて、どの文字か聞き取ることができる。 ・英語の発音に親しみ､カタカナではない英語に対応することができる。	・ブロック体で書かれた大文字・小文字がわかる。 ・音で知っている単語を短いメモやポスターなどから見つけ出すことができる。	・自分の感情などを簡単に伝えることができる。 ・決まった日常のあいさつややり取りをすることができる。	・基礎的な語句を使って自分の名前や年齢などの限られた情報を伝えることができる。	・単語のつづりを１文字ずつ発音されれば、聞いてその通りに書くことができる。 ・アルファベットの大文字・小文字を区別して書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	英語の基本的な知識やそれらを運用するための技能、またその背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。	「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	積極的に言語活動を行い、主体的にコミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1 ～Lesson2 代名詞・ 名詞・冠詞	聞くこと	a: 冠詞の違い複数単数の違いを正確に聞き取り、理解している。 b: 冠詞の違い複数単数の違いを聞き取っている。 c: 冠詞の違い複数単数の違いを聞き取ろうとしている。	提出物 観察
		読むこと	a: 名詞の可算不可算、冠詞の違い、代名詞を理解している。 b: 冠詞の違い複数単数の違い、代名詞について英文を読んで認識している。 c: 冠詞の違い複数単数の違い、代名詞について英文を読んで認識しようとしている。	定期考査 提出物 観察
		話すこと （発表）	a: 名詞の可算不可算を意識し、適切な冠詞、代名詞の使い方を理解している。 b: 名詞の可算不可算を意識し、適切な冠詞、代名詞を用いた基本的な語句や文を用いて話している。 c: 名詞の可算不可算を意識し、適切な冠詞、代名詞を用いた基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 自分のことを紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b: 自分のことについて簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分のことについて簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	定期考査 提出物 観察
	中間考査			
	Lesson3 ～Lesson4 ～Lesson5 be 動詞 （現在形） be 動詞否定 （現在形） be 動詞疑問 （現在形）	聞くこと	a: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の語順を正確に聞き取り理解している。 b: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の語順について、必要な情報を聞き取っている。 c: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の語順について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	提出物 観察
		読むこと	a: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の語順を理解している。 b: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の語順について英文を読んで認識している。 c: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の語順について英文を読んで認識しようとしている。	定期考査 提出物 観察
		話すこと （やりとり）	a: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の使い方を理解している。 b: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の語順が正しい基本的な文を用いて話している。 c: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の語順が正しい基本的な文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の語順を理解して書いる。 b: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の語順を意識して書いている。 c: 主語と be 動詞の組み合わせ、否定文・疑問文の語順を意識して書こうとしている。	定期考査 提出物 観察
	期末考査			
2	Lesson 6 ～Lesson 7 ～Lesson 8 一般動詞 （現在形） 一般動詞 疑問 （現在形） 一般動詞 否定 （現在形）	聞くこと	a: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文の語順を正確に聞き取り理解している。 b: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文の語順について、必要な情報を聞き取っている。 c: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文の語順について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	提出物 観察
		読むこと	a: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文の語順を理解している。 b: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文の語順について英文を読んで認識している。 c: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文の語順について英文を読んで認識しようとしている。	定期考査 提出物 観察

	話すこと （発表）	a: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文使い方を理解している。 b: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文の語順正しい基本的な文を用いて話している。 c: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文の語順が正しい基本的な文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
	書くこと	a: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文使い方を理解して書いている。 b: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文の語順が正しい基本的な文を書いている。 c: 主語と一般動詞の組み合わせや３単現の s、否定文・疑問文の語順を意識して書こうとしている。	定期考査 提出物 観察
第一中間考査			
Lesson 9 ～Lesson 10 ～Lesson 11 be 動詞 （過去形） be 動詞否定 （過去形） be 動詞疑問 （過去形）	聞くこと	a: 主語と be 動詞の過去形組み合わせ、否定文・疑問文の語順を正確に聞き取り理解している。 b: 主語と be 動詞の過去形の組み合わせ、否定文・疑問文の語順について、必要な情報を聞き取っている。 c: 主語と be 動詞の過去形の組み合わせ、否定文・疑問文の語順について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	提出物 観察
	読むこと	a: 主語と be 動詞の過去形の組み合わせ、否定文・疑問文の語順を理解している。 b: 主語と be 動詞の過去形の組み合わせ、否定文・疑問文の語順について英文を読んで認識している。 c: 主語と be 動詞の過去形の組み合わせ、否定文・疑問文の語順について英文を読んで認識しようとしている。	定期考査 提出物 観察
	話すこと （やりとり）	a: 主語と be 動詞の過去形の組み合わせ、否定文・疑問文の使い方を理解している。 b: 主語と be 動詞の過去形の組み合わせ、否定文・疑問文の語順が正しい基本的な文を用いて話している。 c: 主語と be 動詞の過去形の組み合わせ、否定文・疑問文の語順が正しい基本的な文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
	書くこと	a: 主語と be 動詞の過去形の組み合わせ、否定文・疑問文の語順を理解して書いる。 b: 主語と be 動詞の過去形の組み合わせ、否定文・疑問文の語順を意識して書いている。 c: 主語と be 動詞の過去形の組み合わせ、否定文・疑問文の語順を意識して書こうとしている。	定期考査 提出物 観察
第二中間考査			
Lesson 12 ～Lesson 13 ～Lesson 14 一般動詞 （過去形） 一般動詞 疑問 （過去形） 一般動詞 否定 （過去形）	聞くこと	a: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文の語順を正確に聞き取り理解している。 b: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文の語順について、必要な情報を聞き取っている。 c: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文の語順について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	提出物 観察
	読むこと	a: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文の語順を理解している。 b: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文の語順について英文を読んで認識している。 c: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文の語順について英文を読んで認識しようとしている。	定期考査 提出物 観察

		話すこと （やりとり）	a: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文使い方を理解している。 b: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文の語順正しい基本的な文を用いて話している。 c: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文の語順が正しい基本的な文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文使い方を理解して書いている。 b: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文の語順が正しい基本的な文を書いている。 c: 主語と一般動詞の過去形の組み合わせや ed、不規則変化、否定文・疑問文の語順を意識して書こうとしている。	定期考査 提出物 観察
	期末考査			
3	Lesson 16 ～Lesson 17 未来を表す 助動詞 can などの 助動詞	聞くこと	a: 助動詞を含む英文を正確に聞き取り、意味の違い理解している。 b: 助動詞を含む英文を聞き、必要な情報を聞き取っている。 c: 助動詞を含む英文を聞き、意味の違いを聞き取ろうとしている。	提出物 観察
		読むこと	a: 助動詞を含む英文を読み、意味を理解している。 b: 助動詞を含む英文を読んで、意味の違いを認識している。 c: 助動詞を含む英文を読んで、意味の違いを認識しようとしている。	定期考査 提出物 観察
		話すこと （発表）	a: 助動詞の違いを意識し、話す際の適切な使用場面を理解している。 b: 助動詞の意味の違いを意識しながら、自分のことについて話している。 c: 助動詞を用いた基本的な文を用いて自分ができることやしたいことを話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 助動詞の違いを意識し、書く際の適切な使用場面を理解している。 b: 助動詞の意味の違いを意識しながら、自分のことについて書いている。 c: 助動詞を用いた基本的な文を用いて自分ができることやしたいことを書こうとしている。	定期考査 提出物 観察
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度